

芸術文化選奨

受賞年度：令和2年度
受賞区分：文化賞（個人）

氏名又は団体名	まつむら こうじ 松村 公嗣		
代表者(団体のみ)		設立年(団体のみ)	
住所	名古屋市	会員数(団体のみ)	
ホームページ			

受賞時の業績概要

分野：日本画

愛知県立芸術大学美術学部を卒業し、日本美術院の中心的な作家として長年にわたり日本画の制作を続けている。国内外各地を訪れ、そこに生きる人間の姿や自然の情景を題材として、骨太で力強い構成のなかに作者ならではの生命観が情感をたたえて浮かびあがってくるような独自の絵画表現を確立した。雑誌「文藝春秋」の表紙絵を長く手掛け、日本画を広く一般社会にも普及したほか、愛知県立芸術大学で長年教鞭をとった後、同大学学長に就任して後進の育成に力を注ぐなど、本県芸術文化の振興と向上に大きく貢献している。



アトリエ制作風景（令和3年）

経歴・業績・近年の活動内容

【略歴】

昭和23年1月 奈良県桜井市に生まれる
昭和47年3月 愛知県立芸術大学美術学部絵画専攻（日本画）卒業
平成12年4月 愛知県立芸術大学美術学部日本画専攻教授に就任
平成16年9月 日本美術院文部科学大臣賞受賞
平成19年9月 日本美術院内閣総理大臣賞受賞
平成25年4月 愛知県立芸術大学学長に就任（平成30年3月退任）

【近年の活動内容】

「文藝春秋」表紙絵を担当（平成23年1月から令和3年現在まで）
愛知県立芸術大学開校50周年記念「日本画専攻の半世紀」に出品（平成29年1月）
松村公嗣日本画展「時を感じて」（日本橋三越本店）（平成30年5月）
愛知県立芸術大学学長退任記念松村公嗣展「巡る」（松坂屋美術館）（令和元年11月）